

生活者・生産者をむすぶ生活クラブ(エス)を楽しみ、参加する(エンジョイ&ジョイン)ための情報提供がジョイエスの役割です



埼玉県飯能市にある生活クラブの物流拠点「飯能デリバリーセンター」。全国の提携生産者から消費材を入荷し、各地の配送センター・デポーへ届けています(関連記事 P4-5)

P4-5 物流レポート 消費材の流通

- P2 みんなに知らせたい!【企画開催報告】
農福連携フォーラム
- P3 漫画しるクン「配送センターってどんなところ?」
- P6 イベント案内(展示会・協同村など)
- リレーコラム
- P7 「L'sトマトケチャップはトマト栽培からはじまる」
おしえてネっと・わたしの声カードなど
- P8 生活クラブの展示会に行こう

組織の概要(2020年11月末現在)

- 組合員数(デポー含む)90,300人 ●11月度加入909人/脱退557人
- 11月度利用高21億9,967万円/一世帯当たり30,939円(デポー除く)

謹賀新年

2021年、みなさまにとって
よい年となりますように



2020年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、私たちの生活様式が大きく変化しました。自粛生活の中で組合員活動や会議の開催など活動の不自由さを感じる日々が続きましたが、新たにオンラインを活用したさまざまな活動が始まり、あらためて活動の必要性や可能性など大事なものが見えた一年でした。

2021年度は、生活クラブ東京の第7次長期計画(2020年度~2024年度)の2年目です。

引き続きFEC自給圏[※]づくりをすすめ、共感の輪を拡げ、人とつながり、地域での関係をつくっていきます。生協への期待は今まで以上に高まっています。

私たちは自信をもって生活クラブ運動に

参加する仲間を増やす活動を
すすめていきましょう。

※FEC自給圏:「食・エネルギー・ケア」の
自給。経済評論家・内橋克人氏が提唱

生活クラブ東京

理事長 増田和美(中央)

副理事長 田中のり子(左)

副理事長 加瀬和美(右)



農福連携フォーラム「地域でつながる 農福連携」



生活クラブ農園・あきる野では、2019年度より農福連携の実践として、都立あきる野学園（特別支援学校）やあきる野市内の就労継続支援B型事業所※1と連携した活動を行ってきました。11月15日、『農福連携』研究の先駆者である濱田さんの講演とパネルディスカッションを通じて、農福連携を通じた地域づくりの可能性についてフォーラムを開催しました。

農福連携の実践から学ぶこと

濱田さんの基調講演では、農事組合法人をつつた鹿児島県の社会福祉法人の取組みが紹介されました。そこでは、数力所の事業所で、花苗やお茶の生産、養豚、畜肉加工、レストランなど多様な事業を展開し、6次産業化※2しているとのことでした。農業規模としては、全体で45haほどの農地があり、年間豚2千頭、牛25頭を出荷する規模です。また、そこで重度の知的障がいをもつひとが重機を操縦し働く姿や、繁忙期に自ら残業を申し入れたひとの話に接した濱田さんは、「障がい」というものをつつたのは、本人ではなく、健康者なんだ」「できるわけがないと決めつけていた」ということに、あらためて気づかされたといいます。



講師：濱田 健司さん
JA 共済総合研究所主席研究員
日本農福連携協会顧問

農業はさまざまな作業があり、多くのひとにとって親和性の高い仕事だと濱田さんはいいます。また、障がいをもつひとが農作業に加わることで、それまで経験値で教えていた作業が「見える化」され、高齢者にも子どもにもできるようにになります。さらに、作業で失敗した時に怒ったり責めたりするのではなく、「一緒に考えることが大事」という言葉は、一般社会にも通じるお話でした。また、職員間のコミュニケーションが良くなったり、効率化

につながったり、まわりの働き方も見直すことにつながるといいます。

その他、福祉施設と人手不足の農業者をつなぐ香川県の共同受注農作業システムの事例や、規格外農産物を活用するにあたって地域全体で取り組んでいる神奈川県平塚市の農福商工連携の事例など、生協での取り組みを期待する事例が紹介されました。

すべての人々が地域で共に生き、助け合う

- ・濱田さんによる農福連携のポイント
- ・農業がより強くなる
- ・障がいをもつひとがより役割を果たす
- ・地域がより輝く
- ・関係する者や団体がより活性化
- ・未来がよくなる
- ・自然がよくなる

濱田さんは、将来は「障がい者」という言葉ではなく「キヨードー者」（「キヨードーする人びと」と表現したいといいます。コロナ後のこれからの社会は、「キヨードー者」がつくる社会になる。高齢者や生活困窮者も含めて可能性やチャンスがあれば誰でも社会で役割を果たすことができる。それをまず広めていけるのが農福連携で、ヨーロッパ型の福祉ではなく日本型の社会のあり方として、すべてのひとが共に助け合う地域をつくっていきたくて語られました。

また、生活クラブの組合員に対しては、ぜひ農福連携で作った農産物を適正な価格で利用してほしい、その機会を作ってほしいとのメッセージがありました。

生活クラブ農園での実践

生活クラブ農園では、都立あきる野学園（特別支援学校）の生徒を対象としての農園芸作業学習（授業）や、やまぐちや（就労継続支援B型事業・生活介護）との農作業受委託、こーゆうハウス（就労継続支援B型事業・福祉レストラン）への農場産野菜の納品など、地域でのつながりを広めています。フォーラム後半では、それぞれの団体の活動報告が紹介されました。



司会：豊崎 千津美さん
「農あるまちづくり委員会」
担当理事
多摩きた生活クラブ理事長

農園の運営に関しては、生活クラブの「農あるまちづくり委員会」で話し合われています。オンラインで行われたフォーラムには、あきる野市長の参加もありました。「委員会」の担当理事で多摩きた生活クラブの豊崎理事長がコメントを求めると、市長からは休耕農地を活用した生活クラブの実践に対する評価や、今後の学校給食に農福連携をいかしていきたい旨の発言がありました。日曜の午後という時間帯にもかかわらず、70名以上の参加があり、今後の夢が広がる充実したフォーラムとなりました。

農園の江戸東京野菜



内藤かぼちゃ



シントリ菜

※1 就労が困難な障がいをもつひとに雇用契約を結ばず働く場を提供。

※2 6次産業化：1～3次産業を融合し、新たな価値を生み出すこと。6次はそれぞれの数字の掛け算。

いるワンの生活クラブ

配達センターってどんなところ？

まんが・おぐらみどり

1階 配送のトラックヤード

板橋センターにきたよ！

配達担当の... 大島さん！ 今日はこの辺りに行くの？

あ、トラックがいっぱい！

今日は文京区本郷を50件まわります！

たくさん行くのね？

中を探索しよう！

ガラ〜ン...

2階 会議室 ホール・キッチン

試食会を企画したり...

会議室

2階は会議室やキッチン、広いホールがあつて、いろんなイベントや企画で使っています

託児スペース

わたしも子どもも参加した！

サレベジやパルティ〜

わたしも参加した！

3階 事務所

板橋センターは職員11人、アルバイト・スタッフ8人、配送ワーカーズ21人、合計40人です

センターには何人くらいの人か働いているんですか？

井上センター長

配送エリアは... まち文京、小海桂子さん

板橋区、板橋センター、北区、足立区、豊島区、文京区、千代田区

約6300人の組合員に配達しています！

たくさんまわるんだね

生活クラブで〜す！！

あ！トラック、戻ってきたよ！

いろいろな活動しているのね

センターは人やものの集まる場所

センターってただの物流倉庫じゃないのね

リユースするからきれいに洗って出さなくちゃね

回収したびんの仕分けをしています

私たちが出したRびんやP袋はセンターで仕分けしているのね

たくさんの人とセンターで会いたいね！

1階 倉庫

わたしも参加した！

このびん、汚れてる！

リユースするからきれいに洗って出さなくちゃね

回収したびんの仕分けをしています

私たちが出したRびんやP袋はセンターで仕分けしているのね

▲詳しくはこちら

生活クラブ東京には11の配送センターがあり、約71,000人の組合員へ配達をしています(2020年11月末現在)。配送センターでは、職員、配送を担うワーカーズ・コレクティブ「轍(わだち)」、事務や組込みを行なう組合員アルバイトや、拡大・共済スタッフなどが一緒に活動をしています。職員の総数は東京全体で200人余りです。

配達時に回収したびんや袋、カタログ類は、センターで異物や汚れがないかチェックして種類ごとに仕分けた後、飯能DCIに集められます。リユース・リサイクル品の返し方でわからないことがあれば、配達担当者にお声がけください！



物流レポート 消費材の流通

新型コロナウイルス感染症拡大は、物流にも大きな影響を与えました。宅配需要が急増し、生活クラブでの受注量も前年の130%という状態が続き、物流センターでも長時間の仕分け作業が発生しました。今回は、そんな生活クラブの物流の流れを紹介します。

飯能 DC (デリバリーセンター) [常温・冷蔵・冷凍・青果の一部]



生活クラブの物流拠点、飯能デリバリーセンター（埼玉県）。広大な敷地に常温品のライン5本、冷蔵・冷凍のライン各3本でピッキングを行なう



上) 屋上緑化とソーラーパネル
下) 敷地内にある DC で働くひとの保育園



各地の生産者から、消費材が入荷。1 階の倉庫で約 1 週間分をストック。常温品でも、デリケートなものは、温度管理を別にして保管



2 階のカatalog類の帳合レーン



製品の体積や注文量から、自動でコンテナの大小を選別。注文量にかかわらず袋サイズは固定



倉庫からピッキングの棚に消費材を並べます。効率的な配置には熟練の経験が必要



常温ラインでは、1 人15アイテムを担当。約 2 秒毎にレーンが進んでいき、1 ラインで 1 日約 12,000 個以上の消費材をピッキングする

トマトケチャップの場合



加工用トマトの畑（愛知）



ピューレにしたものを調味料を加え加熱



トマトケチャップ製造のコーミ株式の工場



最後は目視で点検。びんにひび割れがないかなど、逆さにするのでフタのうらにケチャップがつきます



平年で1か月におおよそ 65,000 本のケチャップが生産され、飯能 DC に搬入されます

戸田 DC (デリバリーセンター) [青果]

生活クラブの青果は、JA 全農青果センター（株）との共同事業です。埼玉県戸田市のデリバリーセンターでピッキング作業が行なわれています。



長ネギの自動包装機



検品・袋詰め・カット加工などを行ないピッキングラインへ



各産地から DC へ。個々の産地との提携を大事にし、品目ごとの生産者が多く、毎日の需給調整は、パズルのような作業



ある週の人参の注文数は、2 規格で 16,000 個以上



4 本のラインで、1 人 9 アイテムほどを担当してピッキング



関東近郊の産地の青果は、収穫から 2～3 日目で組合員のもとへ

ピッキング袋や R びん、カATALOG類などはセンターやデポーを通して飯能 DC へ行き、洗瓶や再生事業者を経てリサイクル、リユースされます

組合員宅へ



各地の配送センターやデポーへ搬送

見て、ふれて、たしかめて購入できる 生活クラブの展示会に行こう

展示会で扱うのは、スーツ、靴、宝飾品や生活雑貨などどれも品質の確かなものばかり。
生産者から直接説明を聞きながら実際に手に取って選ぶことができます。
デポーの展示会で自分だけのお気に入りを見つけませんか。

ワーカーズ・コレクティブ ベストファイブ スーツ

高品質な生地と適正な価格で好評のベストファイブの
イージーオーダースーツ。国内メーカー・イタリア有名
ブランドなど、約 300 柄から服地を選べます。ボタン
や裏地、細かなデザインを決め、丁寧な採寸であなた
にぴったりの一着をお仕立てします。

出展スケジュール

1/16・17	デポーいたばし
1/23・24	デポー町田
1/30・31	デポー西東京
2/6・7	デポー国分寺
2/13・14	デポーすぎなみ永福



東京真珠(株) ジュエリー

選りすぐりの真珠を産地から直接買い付けて加工し、
中間マージンを省いたことで、リーズナブルな組合
員価格が実現。ダイヤモンド製品も豊富に取り揃え
ています。真珠
ネックレスをお
持ちの方には
「糸交換」もお
すすめ。

出展スケジュール

1/18・19	デポー国分寺
2/1・2	デポーいたばし
2/4・5	デポー町田
2/8・9	デポー東村山
2/11・12	デポー石神井



(有)アイ・メイト メガネ

目の悩みに合わせたさまざまなメガネを用意してい
ます。合わないメガネをかけていると眼精疲労や視
力の低下、偏頭痛、肩こりなど、思わぬ症状に悩
まされることも。
確かな品質で人
気の鯖江産のフ
レームの他、老
眼鏡やサングラ
スもあります。

出展スケジュール

1/11・12	デポー八王子みなみ
1/14・15	デポー石神井
1/18・19	デポー東村山
1/23・24	デポー町田
1/30・31	デポー西東京



気になる生産者の展示会日程をご確認の上、デポーまでお越しください

※展示会日程は変更となる場合があります。詳しくはデポーまでお問合せください

生活クラブの
お店デポーはこちら▶



展示会生産者や
日程についてはこちら▶

